



重症心身障がい児者親の会 ベリーの会



会発足のきっかけ



この会は、医療的ケアを必要とする重症心身障がい児の母親である私の思いからはじまりました。「この子が学校を卒業したら、どこの施設に行けるんだろう？」

現在、医療的ケアを必要とする重症心身障がい児が学校を卒業したら、亘理町外の施設に通う、または自宅介護を余儀なくされています。

私が何度か救急車で運ばれる経験をしていた中で、「自分がいなくなったら、この子はどうなるんだろう？」と不安な気持ちを亘理町福祉課の方に相談しました。

福祉課の方の紹介で宮城県肢体不自由児協会が主催する行事等へ参加し、保護者との交流の中で「亘理町内に生活介護施設がほしい」という願いは私だけではないことを知りました。

当時、県南には重複障がい児者の親の会自体がありませんでしたので、まずは、同じ思いの方を集めようと活動しました。幼少の頃に通っていた亘理町にある母子通所施設「二杉園」の先輩、通っている学校の保護者に声をかけました。

そして私と同じ思いの親5人が集まり、平成27年4月にベリーの会を立ち上げました。



出 会 い

東日本大震災後に宮城県肢体不自由児協会亘理・山元分室や相談支援センター県南ありのまま舎が設置され、つながりができました。

更に、自分たちの思いを陳情書という形で町長、町議会議長に託しました。

またベリーの会を立ち上げた思いを共感し協力をしていただけの仲間も増えました。仲間の中には病院の主治医やソーシャルワーカー、そして通っている学校等にも理解していただけようになりました。もっともっと仲間が増えるとうれしいです。

ベリーの会の抱負



私たちが願うのは、身体障がい児者も知的障がい児者も住み慣れた地域で、安心して暮らしていけること、そして障がい児者の存在を知っていただき、理解と協力を呼びかけていく活動をしていきたいです。現在、亘理町、岩沼市、名取市の方が会員になっています。



会の活動

平成27年4月22日に第1回目の定例会をしました。
まだ定例会を行う場所がなかったため、ファミリーレストランで行いました。

初めて会う方もいましたので、まずは自己紹介。
そして、会の立ち上げるにあたって協力していただいている方々をお招きし顔合わせをしました。

また、ベリーの会の窓口になってくださったのが、
相談支援センター 県南ありのまま舎です。

会発足時は、陳情書作り、署名集めなど無我夢中の1年でした。そんな中、私たちの思いが届き
施設誘致先などが決まり、あとは着工、完成を待つばかりです。

定例会は毎月不定週の木曜日に行っています。
場所は巨理町社会福祉協議会会議室または
巨理町中央公民館第2研修室です。

各親の会との交流や勉強会など、年1回は親子参加の
イベントを開催しています。

